

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

「中国学と現代中国学構築」研究会・「中国文化とアジア世界の文化共生」研究会

中国“尚文”の歴史的伝統

講師 劉再復 氏

元中国社会科学院文化研究所所長・香港城市大学榮譽教授

コメンテーター：張夢陽 氏 (本学COE訪問教授・中国社会科学院文学研究所研究員)

張 琢 (ICCS專業推進委員・本学教授)

加々美 光行 (ICCS所長・本学教授)

概要：

1895年、中国は甲午戦争（日清戦争）において失敗した。その後、中国の知識人たちは国家が弱体化した原因を自省した。梁啓超は中国の「尚文」（文を尊ぶ）の伝統を批判し、「スパルタ式」の「尚武」精神を唱導し始めた。この後の中国において、「尚文」の伝統が残ったのか否か？この伝統を如何に評価すべきか？この伝統を如何にして現代に転化させるのか？などの問題に関しては、近代・現代の中国知識人が考えをめぐらせる、大きな課題となった。

講演者である劉再復氏は、中国には「尚文」の「大伝統」を有すること、そして中国の立国の精神と民族の心理には文明をあげめ尊び、平和の道を追求することを指摘した。しかし、中国には、暴力的手段を通じて統治者と被統治者の矛盾を解決させる「小伝統」も有している。講演者が提起した「告別革命」（革命との決別）の理念とは、「小伝統」との決別であり、「大伝統」を掘り起こし、「尚文」精神を現代の双方向的な対話と礼儀を尽くして歩み寄る事に転化させ、以ってそれぞれの衝突の解決をはかろうとするものである。

2005年5月28日(土) 13:30~17:00

愛知大学名古屋校舎 研究館3階第1研修室

* 講演は中国語でおこないます。（日本語通訳あり）

* 申し込み不要。

【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料